事務事業評価シート

(評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	排水路管理事業				②事業番号	6304	
③事業類型	4. 施設等維持管理事業			④開始年度	年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称: -
⑦実施手法	直営	全部委託	☒ 一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	7	項	3	目	4	細目 1
⑨担当部名	上下水道部			⑩担当課名	下水道整備課		
						会計 一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
①管理排水路	①対象地区	地区
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
要望等により、以下の業務を委託している。 ・排水路内の草刈 ・排水路の浚渫 ・排水路施設の修繕 ・排水路改修工事	①要望回数	回
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
排水路の機能を保持、改善し、良好な状態を保つ。	①修繕件数	件
	①計算式	
	②清掃件数	件
	②計算式	
	③工事件数	件
	③計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
浸水被害防止のための排水施設の整備とその適切な管理・運用を進める。	政策(章) 5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち	
	施策大(節) 1 豊かな自然環境を維持・向上し、うるおいあふれるまちをめざします	
	施策中 1 河川・ため池の保全と活用	
	施策小 2 排水施設の整備	

【2】各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	対象地区	地区		20	20	20	20	20	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②									
活動指標①	要望回数	回		1	2	0	2	2	
活動指標②									—
活動指標③									
成果指標①	修繕件数	件		6	5	3	3	3	
成果指標②	清掃件数	件		3	10	11	11	11	事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
成果指標③	工事件数	件		0	1	0	0	0	
事業費	投入人員	人		0.35	0.25	0.50	0.50		
	正職員	人		0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人		0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人		0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円		2,811	2,008	4,054	4,054		
	直接事業費	千円		6,436	5,115	3,659	3,659		
	総事業費	千円		9,247	7,123	7,713	7,713		
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0	0		—
	府支出金	千円		0	0	0	0		
	受益者負担金	千円		0	0	0	0		
	その他特定財源	千円		0	0	0	0		
	一般財源	千円		9,247	7,123	7,713	7,713		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	排水路の維持管理を行うことを目的として事業化している。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	農地の減少により、用水路としての機能がなくなり、排水路として管理する水路が増えてきている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	排水路の整備とその適切な管理・運用を行うことは、浸水被害防止に寄与している。
②税金を使って達成する目的ですか。(市が関与する必要がありますか。市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	排水路は公共性が高く、防災等の観点からも行政が責任を持って対応する必要がある。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。(他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	泉南市で管理する排水路及び管理内容は決まっており、適切に行っている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	適切な排水路の管理が行われなければ、周辺環境や衛生面又、防災においても影響が大きい。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	排水路の清掃等により、大雨時にスムーズに排水できるようになっている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。(事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	老朽化した排水路構造物を計画的に改修することで、成果の向上が図られる。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	農業用水路や道路側溝等の類似するものがある。

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

B

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。(業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	委託内容の見直し等により、コスト削減の努力をしていく。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。(歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	
	A	排水路を維持・管理していくことは、周辺環境を向上させ、又治水の面からも必要である。	<p>A: 現状のまま事業を進めることが適当</p> <p>B: 事業の進め方に改善が必要</p> <p>C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要</p>

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

<p>ア</p>	<p>ア. 現状のまま継続</p>	<p>イ. 見直しのうえで継続</p>	<p>ウ. 終了 ↓ (___ 年まで)</p>	<p>エ. 休止 ↓ (___ 年から)</p>	<p>オ. 廃止 ↓ (___ 年から)</p>
<p>↓</p>					
<p><今後の展開方針></p> <p>a. 重点化する(集中的なコスト投入)</p> <p>b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる)</p> <p>d. 簡素化する(規模を縮小する)</p> <p>e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p>					
①改革、改善の具体案、実施年度など		—			
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—			